

I 重点目標

- 1 かわすあいさつ、わかち合う心〈徳育〉
 - 挨拶を交わすなか、人間尊重の精神を培う。
 - 諸活動を通し、豊かな情操、奉仕・協働の精神を培う。
 - 生徒指導、安全指導の充実と規範意識の醸成に努める。
 - いじめ・不登校等への温もりある対応に徹する。

- 2 かんがえ、表現する力〈知育〉
 - バランスのよい習得と活用による授業で確かな学力の定着を図る。
 - 基礎的・基本的内容の定着を図る。
 - 学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力を養う。
 - 学習習慣の確立と家庭学習の充実に努める。

- 3 みんなで踏ん張る底力〈体力、徳育〉
 - 家庭や地域社会と連携し、基本的な生活習慣の定着に努める。
 - 体験活動を通して継続して取り組む態度を養う。
 - 健康の保持と体力・運動能力の向上を図る。
 - 進んで健康づくりに取り組む態度を養う。

II 重点目標に対する学校評価（数値は4段階評価の平均値 各評価項目に対する教職員・児童・保護者の評価の順で表記 ◎は学校関係者評価委員の評価 ○は考察及び改善方策）

○挨拶運動	(3.3 3.5 3.2)
○仲間・集団づくり	(3.3 3.7 3.5)
青少年赤十字活動	(3.4 3.4 3.1)
○生徒指導体制の整備	(3.8 3.3 3.5)
登下校の安全確保	(3.6 3.8 3.6)
防災教育の充実	(3.5 3.9 3.5)
施設・設備の安全管理	(3.5 3.7 3.7)
校内環境の整備	(3.4 3.4 3.4)
○いじめ・不登校等への対応	(3.6 3.7 3.3)

○言語活動の充実	(3.3 3.4 —)
特別支援教育の充実	(3.3 3.6 3.1)
情報機器の適切な利用	(3.1 3.5 3.4)
○基礎・基本の定着	(3.5 3.5 3.4)
○思考力の育成	(3.1 3.4 —)
○家庭学習の充実	(3.3 3.3 2.9)

○基本的生活習慣の定着	(3.3 3.4 3.1)
開かれた学校づくり	(3.2 3.5 3.3)
PTA活動への協力	(3.4 — 3.4)
情報の共有化	(3.4 — 3.6)
○道徳教育の充実	(3.6 3.6 3.4)
○体力づくり	(3.3 3.7 3.6)
○健康づくり	(3.4 3.5 3.3)
食育教育の充実	(3.2 3.4 3.0)

◎先生方は、いじめ防止基本方針のもと、早期発見に努め、問題があると迅速に行動し、解決に取り組んでいる。

◎登下校の見守り活動などは、広範囲校区であるにもかかわらず、とても熱心に対応できている。

◎気持ちのよい大きな声で挨拶ができている。今後も、地域で広がるように啓発していきたい。

○学期に1回「学校生活についての調査」や毎月「学校生活についての月調査」を行い、アンケート調査を基にした教育相談を実施するなどして、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めている。事案に応じて、複数の教員で対応するとともに、家庭訪問や電話連絡等による保護者との関わりを通して、保護者との連携の強化に努めている。

○運営委員会が中心となって挨拶運動に取り組み、元気に挨拶を交わすことができている。その輪が、地域の方々や見守り活動の方々にも広がってきている。

○「防災マニュアル」の見直しを行い、食物アレルギーへの対応やJアラート発表時の対応、インターネット等での誹謗中傷等への対応などを追加した。

◎本校の家庭学習の手引きは、具体策が書かれており、児童、保護者にとって理解しやすいと思う。

◎家庭学習は、その必要性を自覚しながら実践できていないようである。保護者の自覚が更に必要だと思う。

◎家庭での学習に不安を抱いている保護者、児童が多いように感じる。宿題なども学級によって差がある場合があるので、その辺りも先生方で共有していただきたい。

○基礎的、基本的内容の確実な定着を目指し、朝学習の時間を確実に確保できるように教職員の意識統一を図った。また、応用的な内容を含むプリント教材（東温市から提供していただいている「みんなの学習クラブ」や「愛媛学びの森学習支援サイト」等）を活用している。

○「家庭学習がんばりカード」を配付し、1週間分の学習内容や学習時間を記録して意欲付けを図った。今後も、家庭と連携して家庭学習の充実に努めたい。

○教職員は校内外の研修を通して、積極的に特別支援教育の理解に取り組むことができた。一人一人の実態を踏まえ、「分かる授業」を目指して、個に応じた指導や支援ができるように努めている。

◎道徳教育の充実、なわとびチャレンジタイムなど、休み時間まで先生方が取り組んでくださり、児童の健やかな体づくり、クラスの団結につながっていると思う。

◎特に本校は、異年齢とのつながりを含め、仲間と仲よく、様々な活動に取り組んでいると思う。

◎ホームページ、校報「かわかみ」、学年だよりを見せていただき、情報の共有化に積極的に取り組まれていて、児童のいきいきとした日々の活動の様子がよく分かる。

○よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート（Q-U、ハイパーQ-U）の結果を分析し、効果的な指導となるよう努めている。

○人権・同和教育や性教育に視点を当てた参観日をそれぞれ実施し、心や体、命について考える時間を設定し、学級PTAや事後の感想を通して家庭との連携を図った。

○「一人一役活動」を中心に、保護者がPTA活動に参加することができている。評価項目「PTA活動への協力」の昨年度の結果との比較からも参加意識の向上が伺える。家庭教育学級や学校保健委員会にも、より多くの保護者が参加できるように、日程や内容を工夫しながら取り組んでいきたい。